

ACP 研修会

2022/2/19 開催

今回の学習会も Web 開催となりました。



アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者さんを主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意思決定を支援するプロセスのことです。患者さんの人生観や価値観、希望に沿った、将来の医療及びケアを具体化することを目標にしています。

講師は行政書士、相続・終活コンサルタントの明石 久美さんをお招きしました。

ご紹介します（^^♪パチパチ

講師歴16年。親族が葬祭業のため供養業界にも詳しく終活が話題になる前から生前や死後の対策を含めたセミナーや研修を全国で行っています。テレビやラジオ出演のほか、新聞・雑誌等で相続、葬儀、墓、エンディングノートのコラム執筆や監修も行っています。



研修の内容は？ ●これから起こるかもしれないこと・起こること ●意思を残すときの注意点

●考えておきたいこと・伝えておきたいこと ●法定後見制度利用前に知っておきたい注意点

●頼れる親族がない場合に準備しておきたいこと ●葬儀屋やお墓でかかる費用って？お墓

の種類と注意点・ ・笑いを取り入れながら盛りだくさんの内容のお話しをして頂きました♥

・生きていれば起こりうる対策（終活）のほか別途必要な場合は財産に関する対策が必要。・何のために意思を残すのかを考えることが大切。・遺書には了解を得ていない個人氏名や場所は書かない。・了解を得ていても書くことでその人が困る場合がある。・後見人等を受任したら原則辞任できない。・墓じまいでかかる費用30万～100万、葬儀費用全国平均195.7万円・散骨、手元供養（ネックレスや数球などに加工）もある・好きな○○、嫌いな○○ 色、花、言葉などを伝えておいた方がいい・ ・





研修に参加した職員の感想です。

・世の中の終活事情を知ることができた。・終活においてその人がおかれた状況によって色々な手続きやお金が必要になる。・終活は今からでも元気なうちに少しずつ考えないといけない。・看護ではその人らしく生活できることを大切にしてきているがその人らしく生きたその後の終活について具体的な問題、残された家族を取り巻いていることがわかった。・日々利用者さんの意思を中心に聴くことが多かったが残される家族の意思も尊重する大切さを感じた。ACPにはチーム、医療、ケアが欠かせなく、コロナ禍でより重要性が高まっていると思います。利用者の何気ない会話や価値観、大切にしていることを聞き取り思いを表明できるように支援を目指します。

訪問看護で一緒に働き、学びませんか？募集中です(^ ▽ ^)